



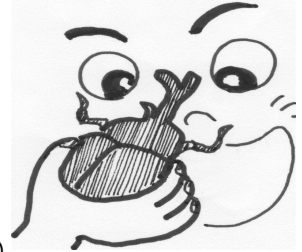
ホンモノを見つけよう！

(2013年度『牧羊者』夏期学校教案)

「世に勝つ者はだれか。イエスを神の子と信じる者ではないか。」

(Iヨハネ5・5)

- ★ 第1課 見つけよう！ ホンモノの愛 (Iヨハネ4・10)
- ★ 第2課 受け取ろう！ ホンモノの救い (Iヨハネ1・7)
- ★ 第3課 勝ち取ろう！ ホンモノの勝利 (Iヨハネ5・4、5)



二〇一三年度の夏期学校教案を制作できましたことを感謝いたします。

早速、教案について説明させていただきます。

一、内容について

夏期教案は、三回のメッセージと、それぞれにワークがあります。夏期学校は、小学生が主なメンバーになると思います。ワークは、1～3年生を対象にした「下級」、4～6年生を対象にした「上級」の2種類を用意しました。

しかし、子どもの信仰、学年、理解力の程度に応じて、先生方が選んで用いてください。

二、カリキュラムについて

今年の夏期教案のテーマは、「ホンモノを見つけよう！」としました。「本物」をキーワードとしながら、信仰の決心がなされ、その後の歩みへの備えとなるよう、カリキュラムを組みました。今年の夏期学校が、子供たちとイエス様との出会いの時となることをお祈りしています。

第一課 「見つけよう！ ホンモノの愛」

「本物の愛とは」という問いかけから、神様の存在とそのご愛に目を向けさせ、特に十字架にその愛が示されていることに注意を向けさせます。

第二課 「受け取ろう！ ホンモノの救い」

「本物の救いとは」という問いかけから、罪の問題に目を向けさせ、十字架によって備えられた救いを受け取るよう招きます。



第三課 「勝ち取ろう！ ホンモノの勝利」

「本物の勝利者とは」という問いかけから、世の誘惑に打ち勝ち、勝利をもって歩むため、キリストを信じ、信仰の歩みを始めるよう招きます。

三、執筆担当者

今回、執筆の御勞をとってくださったのは、次の先生方です。心から感謝いたします。

メッセージ例 長谷川宣恵師

下級ワーク 山下大喜師

上級ワーク 上森恭子師

最後に、各教会のバイブルキャンプ・夏期学校の上に、祝福をお祈りいたします。

教会教育室長 中島啓一

第一課 見つけよう！ ホンモノの愛

聖書 Iヨハネ4・10

中心聖句 ここに愛がある。

Iヨハネ4・10

目標 本物の愛は、十字架に示された神の愛であると知る。

導入

今年の夏期学校は、「ホンモノを見つかけよう！」と言うテーマで、聖書から「ホンモノ」を学びます。私たちの一度しかない人生を、素晴らしく生きるためにはホンモノをつかんで、ホンモノを握って生きなければなりません。「あー、つまらない人生だったー」と悲しまないためにも、ぜひホンモノを知りたいものですね。

本物は「聖書」の中に

聖書は、約一五〇〇年もの間に、四〇人以上の人々の手によって書かれました。人が考えたものではなく、「神様のお心」によって書かれた「神のことば」です。今も、世界中の人々に読まれているベストセラーで、人生のガイドブックです。

この神のことばには、人の心を造り変え、意義ある人生を送ることが出来るようにする力があります。聖書の言葉を信じて生きる時に、偽りのない、素晴らしいホンモノの生き方が出来るのです。アメリカの第十六代大統領アブラハム・リンカーンは、とても信仰深い義母に育てられました。そのお母さんはいつもリンカーン少年に、「あな

たがどんなに広い田畑を持つ人になることよりも、この一冊の聖書を読み、それを実行する人になって欲しいのです」と言いました。リンカーンは、その約束を守り、奴隷を解放し、生涯をかけて全ての人を愛する生き方を実行しました。ホンモノの生き方は「聖書」の中にあります。

聖書にある「神様の愛」

その聖書に書かれている一番素晴らしいことは、「神は愛である」(Iヨハネ4・8)ということです。神様はこの世界が何もない状態から造って下さり、また、私たち一人ひとりもこの世に誕生させて下さいました。そして、一人ひとりを大切に思っていて下さるのです。「かけがえのない一人」「他に代わりのない一人」として愛して下さいます。勉強がよく出来るから、スポーツが得意だから、かわいいから、イケメンだから、何かがうまいから、などの理由で大切に思ったださるのではないのです。わたしたちの「ありのまま」「そのまんま」を大切に思ったださるのです。なんと言う素晴らしい愛でしょう。「神様は愛」です。

ホンモノの愛はイエス様の十字架に！

では、神様がどんなに大きな愛の方であるのかは何処で分かるのでしょうか。それは、「イエス様の十字架」を見るとよく分かります。

わたしたちも、誰かと話す時よく「それって本当？ じゃあ、証拠を見せてよ」と言いますね。神様が愛のお方である証拠が、「イエス様の十字

架」なのです。神様は独り子のイエス様を、わたしたちの罪を赦すための方法として十字架につけて下さいました。

つまり、わたしたちの身代わりにイエス様が十字架で死んで下さったのでした。誰が大切な自分の独り子を死なせることが出来るでしょうか。

神様は、人間を深く深く愛して下さっていたので、イエス様を十字架につけることをお決め下さったのです。それは、神様に「ホンモノの愛」があるからでした。

ホンモノの愛に感謝しよう！

クリスチャン女性作家三浦綾子さんの本に「塩狩峠」という素晴らしい小説があります。実話を本にされたのですが、主人公はクリスチャンの永野信夫さん、札幌に向かう列車が塩狩峠の頂上にさしかかった時、突然客車と機関車の連結が外れて客車は逆走、信夫青年はハンドブレーキをかけた後、線路に体を投げ出して客車を止め、乗り合わせた全ての人の生命を救った…という内容でした。自分を犠牲にして他の人を救った愛は、多くの読者に感動を与えました。

この「塩狩峠」を読んだ多くの方が教会へ来られ、イエス様の十字架の愛を知り、クリスチャンになりました。また、その中から何人もの牧師さんも誕生したのです。どうして永野青年にはそんな勇気があったのでしょうか。それは、イエス様を十字架にかけるまで人間を、自分を、愛して下さった「ホンモノの神様の愛」を知っていたからでした。私たちもこの愛に感謝しましょう。

第二課 受け取ろう！ ホンモノの救い

聖書 Iヨハネ1・7

中心聖句 御子イエスの血が、すべての罪から

わたしたちをきよめるのである。

Iヨハネ1・7

目標 本物の救いは、罪からの救いである

ことを知り、キリストの十字架による救いを得る。

導入

人間は、誰もがかわいい赤ちゃんとして「オギャー」と生まれてきますね。みんなが大喜びして、名前をつけます。いい子になって欲しいと願って、一生懸命育てますが、だんだん大きくなってくると、誰も教えないのに、我がままが出たり、嘘をついたり、人をたたいたり、にくんだり、いやな思いを持ってきます。

どうして人間はみんなそうなるのでしょうか。それは、みんな生まれながらに罪を犯す性質を持っている（ローマ3・23）からです。

みんなが持っている「罪」

聖書が教える罪とは「的はずれ」という意味です。「神様を信じる」と言う「的」からはずれた生き方、はずれた事を「罪」と言い、わがまま、うそつき、にくしみ、ぬすみなどは、みんなその罪から出て来るのです。

罪の始まりは聖書の創世記二章に出て来るアダ

ムとエバにありました。アダムとエバは、神様との約束を破って、食べてはいけませんと神様から言われた「木の実」を食べてしまいました。神様との約束を守らず、自分勝手なことをしてしまつたために、この世に罪が入って来てしまつたのです。そして、その子孫である人間はみんな、罪を持ったまま生まれて来るようになりました。ですから、人間は誰もが「罪人」なのです。

罪のむくい

罪を持ったままの人間は、神様の用意して下さっているきよい天国へ入ることは出来ません。罪ある人は、神様からの罰を受ける必要があります。学校でも、約束やルールを守らない時には罰則がありますね。

「罪の支払う報酬は死である」（ローマ6・23）と聖書にありますが、罪あるままでは永遠の滅びの中に入っていかなければなりませんし、罪を放っておくと、人間を不幸にしてしまうのです。

では、この罪を処分するにはどうしたらよいのでしょうか。心の汚れは、雑巾でふき取れません。洗たく機でも洗えませんし、牛乳を飲んでも心は白くなりませんね。

ホンモノの救いがイエス様の十字架に！

でも、悲しむこともわがることではありません。神様はちゃんと私たちのために「救われるための道・方法」を用意して下さいました。その救いの道が、「イエス様の十字架」です。

イエス様はあのクリスマスの日に、人間を救う

ために生まれて来て下さいました。「イエス・キリスト」という名前は、「イエスは救い主」という意味です。イエス様は、神の子でしたが、わざわざ人間として生まれて来て下さり、私たちの罪の身代わりをするために十字架にかかって死んで下さいました。そして、私たちの罪を処分して三日目によみがえって下さったのです。

ホンモノの救いを受け取ろう！

神様は、このイエス様を「ありがとうございます」と信じる人に「救い」を下さるのです。罪の赦しをいただけると言うことです。つまり、「信じて受け取る」人にホンモノの救いを下さるということです。

鳥取県に八十八歳の南條城吉さんという方がおられました。わがままで、人を恨んだり、好き勝手な人生を送っていました。娘さんに誘われて教会へ来られました。イエス様の十字架のお話を聞いて「こんなにありがたい話はない。私はひどい人生を送ってきた。今日から私もイエス様を信じて『お道』に入れていただきたい」と、初めて教会に来られたその日に、全ての罪を悔い改めてイエス様を信じられました。

南條さんの人生は見事に変わり、それからの彼は、ニコニコしながら雨の日も雪の日も、日曜日には必ず、杖をついて教会へ来られました。そして彼は町の評判の人になられたのです。

ホンモノの救いは、私たちを造り変えて、素晴らしい生き方をさせて下さいます。イエス様の救いを私たちもいただきましょう。

第三課 勝ち取ろう！ ホンモノの勝利

聖書 Iヨハネ5・4～5

中心聖句 世に勝つ者はだれか。イエスを神の子と信じる者ではないか。

Iヨハネ5・5

Iヨハネ5・5

目標 御子イエスを信じて、本物の勝利者としての歩みを始める。

導入

ゲームでも、スポーツでも、「勝つ、勝利する、優勝する」ことはとても嬉しく、楽しいことですね。また、とても意義のあることだと思えます。

今回の夏期学校では、「ホンモノの愛」「ホンモノの救い」を学びました。今日は最後に、神様の愛と救いを信じた人が「勝利者」としての生活を送ることの大切さを学びましょう。

ホンモノの勝利者とは

聖書が言う「世に勝つ者」とはどんな人のことを言うのでしょうか。何でも出来て、力が強くて（ケンカにも負けない？）、誰よりも上に立つような人を言うのでしょうか。そうではありません。

「ホンモノの勝利者」とは、悪魔からくるいろいろな誘惑に打ち勝ち、神様の喜ばれる生き方をすること、また、周囲の人々を心から愛して、隣人の幸せのために生きて行ける人のことだと思えます。たとえ、どんな苦しいところを通ることがあっても、イエス様の力をいただいて乗り越えて行ける人のことでもあるでしょう。マルチン・ル

ター、ナイチンゲール、シユバイツァー、ヘレン・ケラー、マザー・テレサ、星野富弘さん…と、数えきれない程の素晴らしい方々が私たちの手本として「勝利者」の生き方を見せて下さいました。

勝利の鍵はイエス様にあり！

イエス様を信じて「神の子」とされた私たちをホンモノの勝利者として下さるのは「イエス様」です。今日の中心聖句に「世に勝つ者はだれか。イエスを神の子と信じる者ではないか（Iヨハネ5・5）」とあるように、イエス様を信じる「信仰」が勝利の鍵・ひけつです。

イエス様を信じていても、悲しいことに会ったり、イヤなことを言われたり、うまく進めなかったり、誘惑に負けそうになったり…と、困ったことがおこることがあります。そんな時、「イエス様、助けて下さい！」と祈り叫ぶことが大切です。イエス様は「神の子」ですから、必ず助けて下さいます。どんなことでも助けることのお出来になるのがイエス様です。

私たち弱い人間は自分の力で「勝利者」にはなれませんが、イエス様に依り頼む時（信仰とは信頼すること！）勝利させていただけるのです。勝利の鍵はイエス様にあるのです。

勝利者としての歩み

最後に、イエス様を信じた私たちがどのように歩み、生活していけば、ホンモノの勝利者になれるのかを考えてみましょう。

プロのスポーツ選手も、クラブ活動で優勝を目

指す選手も、記録を伸ばすためには一生懸命トレーニングに励みます。ピアノでも、そろばんでも、習字でも、何でも上達しようと思えば、努力が大切ですね。ホンモノの勝利者となるためにも「守るべきつとめ」があります。


よく教えられてきた「教会学校のお友達―五つのつとめ」をご紹介します。

- (1) 毎週の教会学校に通う（礼拝）。
- (2) 毎日聖書を読む（聖書）。
- (3) 毎日お祈りをする（祈り）。
- (4) お友達にイエス様を伝える（伝道）。
- (5) 神様に献げる（献金）。

これらのことを忠実に守ることによって、イエス様を信じる信仰が養われて毎日成長することが出来、勝利者としての歩みが出来るのです。

M先生は青年の頃、弁護士になろうと学んでいたある日、目の病気になる弱視に悩まれました。人生を絶望した時、一人の方に教会に誘っていただきイエス様を信じ救われました。イエス様に希望を持ち、やがて牧師になられ、多くの方々にイエス様を伝えられました。八〇歳で倒れ入院、意識がもうろうとする中でも、看護士さんに伝道、付き添っている家族が誰かと話していると「その方にグッド・ニュースを渡してあげて下さい」と言われ、天国に行くまでイエス様を伝えることを止められませんでした。見事な「ホンモノの勝利者M先生」でした。

私たちも、一生をかけてイエス様を信じ続け、ホンモノの勝利者となって行きましょう。

 **みことばをかきましょう <1ヨハネ4・10> なまえ**

1、せいしよについて、ただしいのはどれでしょうか? ○をつけてください。

()



せいしよのおはなし
はみんなうそだ!

()



せいしよはかみさま
のおこころ。かみ
さまのことばだよ

()



せいしよのことばを
しんじたら。
ホンモノのいきか
たができるんだ!

()



かみさまなんかいな
い!ひとがせいしよを
かいたのさあ!

()

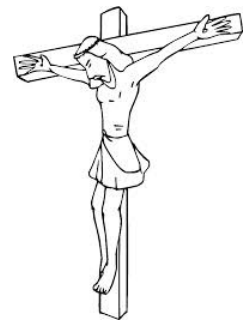


せいしよはひとのこ
ころをつくりかえるち
からがあるんだあ!。

2、せいしよにかかっている、すばらしいことはなにでしようか?

○○は○○である。

3、かみさまの^{あい}愛が^{おお}どんなに^{なに}大きいかは、^み何を見ればいちばんよくわかるでし
う? (ヒントは右の絵だよ)



4、○にことばをいれて、かんせいさせましょう。○のことばは、 から
えらびましょう。 ・したがい ・イエスさま ・あい ・じゅうじか ・こころ

かみさまは、○○○○○○を○○○○○○にかけるとに、

(じぶんのなまえ)を、○○○してくださっています。

★おいのり

かみさま、わたしのためのイエスさまのじゅうじかをかんしゃします。ホンモノのあいをもっとおしえてください。イエスさまのおなまえによっておいのりします。アーメン



みことばをかきましょう。 < 1ヨハネ1・7 > なまえ

1、つぎのうち、どれがつみでしょうか？ ○をつけてください。

()

()

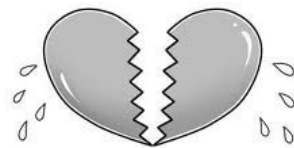
()



かみさまを信じない
きょうか^がりに行かない



おやにはんこうする




人のこころをきずつける

2、イエスさまは、なんのために、じゅうじかにかかったのでしょうか？

○にことばを入れてください。

わたしたちの ○ ○ をゆるすため

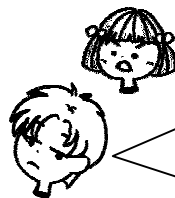


3、じぶんのこころのなかにあるものは、どれでしょうか？  **のなかにかいてみましょう。**

うそ わるくち うらみ やさしい

ぼういよく おもいやり むかつき じまん

イライラ すっきり かんしゃ きれい



4、 **のなかから、ことばをえらんで、○のなかにかきいれましょう。**

イエスさまの ○○○○○ の死と ○○○○ を


しんじると、わたしたちのすべての ○○ はゆるされます。

そして、 ○○○○ のいのちまでもあたえられるのです。

★おいのり

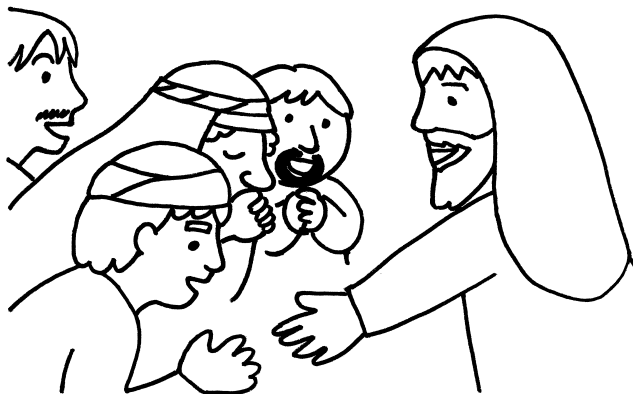
かみさま、ホンモノのすくいはイエスさまのじゅうじかをしんじることです。わたしのおかしたつみをおゆるしてください。イエスさまによっておいのりします。アーメン

つみ
うそ
じゅうじか
なぐさめ
えいえん
てんごく
ぶっかつ
かみさま
エルサレム

 みことばをかきましょう。＜ 1ヨハネ5・5＞ なまえ

1、せいしゅがおしえるホンモノのしょうりしゃとはどんなひとでしょう？

ア～オ からえらんで、○でかこんでください。



ア、おくまんちょうじゃ

イ、かみさまに ^{よろこ}喜ばれる ^い生き方をする ^{かた}

ウ、あくまのゆうわくにうちかつ

エ、^{かみさま}神様と ^{ひと}人を ^{こころ}こころからあいする

オ、そのほか()

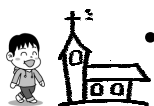
2、○にことばをいれて、かんせいさせましょう。○のことばは、からえらび ましょう。・したがい ・イエスさま ・しんこう

イエスさまをしんじる ○○○○ がしょうりのひけつです。

わたしたちをホンモノのしょうりしゃにされるのは ○○○○○○ です。

3、どのようにしたら「ホンモノのしょうりしゃ」になれるのでしょうか。

^え絵と ^{ぶんしょう}文章、あうものどうしをせんでむすびましょう。



・まいしゅうにちようび、きょうかいがっこうにかよう・

・まいにちせいしゅをよむ・

・まいにちおいのりをする・

・おともだちにいえすさまをつたえる・

・かみさまにけんきをささげる・

(きょうかいがっこうのおともだち－^{いつ}五つのつとめ)



おともだちに
きょうかいに
さそおう！

★おいのり

かみさま、わたしたちがずっとイエスさまをしんじつづけ、しんこうがもっとせいちょうする
ようにたすけてください。イエスさまのおなまえによっておいのりします。 アーメン

ワーク下級 解説

(山下 大喜)

第一課

みことばは、自分で聖書を開かせ、大きく書かせてください。

先生も大きく書いて手本を示して下さい。

●第1問 答えは、上(×)(○)(○)、下(×)(○)。(先生がお話された聖書について、もういちど考えます。「何よりも優先して読むべきは聖書」と強調して下さい。

●第2問 答えは「かみはあいである」。(答えは簡単ですが、覚えることが大切です。)

●第3問 答えは、「イエスさまの十字架」です。(誰が大切な独り子を身代りに死なせることが出来るでしょうか。と具体的な説明を加えて、子ども達と共に考えてあげてください。)

●第4問 答えは「イエスさま」「じゅうじか」「あい」です。には自分の名前を書かせてください。

第二課

みことばは、自分で聖書を開かせ、大きく書かせてください。

先生も大きく書いて手本を示して下さい。

●第1問 答えはすべてに○。(罪は日常生活の身近にあり、それがやがて悲惨な結果を招くと強調してください。その他の罪についても説明してあげてください)

●第2問 答えは「つみ」。(子ども達が注意すべきはこの一点であることを示して下さい。)

●第3問 答えは「うそ」「わるくち」「うらみ」「ぼうりょく」「ムカつき」「じまん」「イライラ」「きらい」。(神様がわたしたちの心の中を見ておられることを子ども達が知ること。また自分たちの心の中に罪があるのに気づくことが大切です。「やさしい」「おもいやり」「すっきり」「かんしゃ」を書いた子にも、それを否定せず、「もちろん、そういう気持ちもあるよね」と肯定した上で、心の中にある罪に目を向けさせてあげてください。)

●第4問 答えは「じゅうじか」「ふっかつ」「つみ」「えいえん」です。(ただ信じるだけでホンモノの救いを受け取ることができるんだよ！忘れないで！と強調してください。)

決心の必要が「ある」という子〈認罪がある子〉には、口写しでも下記の祈りを祈らせて下さい。

第三課

みことばは、自分で聖書を開かせ、大きく書かせてください。

先生も大きく書いて手本を示して下さい。

●第1問 答えは「イ」「ウ」「エ」。(答えをさらにわかりやすく説明してください。子どもたちがプレッシャーを感じないように自分の力ではできないことも教えてください。)

●第2問 答えは「しんこう」「イエスさま」。(お話の反復、確認です。)

●第3問 答えは「左上—毎週日曜日教会学校に通う」「左下—毎日聖書を読む」「右上—神様に献金をささげる」「右中—毎日お祈りをする」、「右下—お友達にイエス様を伝える」。(教会学校のお友達—5つの務めを生涯続ければ、悔いのない人生を送れるよと勧めてください)

最後の「お祈り」です。できるだけ個人個人に確実に口写しで。終わったら、ぜひ、握手をしましょう。

★聖書 | ヨハネ4・10

★中心聖句 | ヨハネ4・10

ここに愛がある。

1、聖書について書かれているa,bのうちどちらがホンモノでしょうか。ホンモノに○をつけましょう。

① a()聖書はアメリカ人だけが読んでいる。
b()聖書は世界中の人が読んでいる。

② a()聖書は約1500年かけて書かれている。
b()聖書は3年くらいで書いている。

③ a()聖書は一人の人によって書かれている。
b()聖書は約40人の人々によって書かれている。

④ a()聖書はえらい人の言葉が書いてある。
b()聖書は神様のお心が書かれた神の言葉です。

⑤ a()無学の人も聖書の言葉を読んで、心が変えられ、神に喜ばれる生き方をしている。
b()聖書はむずかしいので、勉強している人にしかわからない。

2、①～④の人々は神様に愛されていますか。話し合ってみましょう。

- ①勉強がにがてな人 _____▶ 愛されている ・ 愛されていない
②スポーツがにがてな人 _____▶ 愛されている ・ 愛されていない
③イケメンや美人ではないと思っている人 _____▶ 愛されている ・ 愛されていない
④あなた _____▶ 愛されている ・ 愛されていない

※④で「愛されていない」と答えた人はどうしてそう感じるのでしょうか。

3、10節のみ言葉を読んで、○か×で答えましょう。

- ①() 私たちが神様を愛している。
②() 神様が私たちを愛しておられる。
③() 神様に愛されるためには努力が必要。
④() 神様が私たちのために、イエス様を送ってくださった。

4、神様は、私たちのためにイエス様をお送りくださり、私たちの罪^{つみ}をゆるすためにその罰^{ばつ}をイエス様に負わせ、十字架につけてくださいました。聖書は「ここに愛がある」と語っています。あなたを愛し、あなたのためにイエス様を十字架におかけになった神様の愛を信じますか。

【祈り】天の父なる神様、イエス様が私の罪の罰^{じゅうじか}を負って十字架におかかり下さったことを知り、私は神様に愛されていることがはっきりとわかりました。そのことを心にきざめますように。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

2013年度 夏期上級 第一課 解説（上森恭子）

夏期学校では寝食を共にしてみ言葉を聞き、週一回の教会学校するときには持つことができないほど密接な子どもたちとのふれあい、会話、生活をすることができます。それによって救いを目標に祈りと伝道に集中する良い機会です。子どもたちが個人的にイエス様に会い、罪の告白とともにイエス様を受け入れて救われ、キャンプ後もイエス様との関係が続いていくように導き祈りたいと思います。

第一課は「見つけよう！ホンモノの愛」というテーマに沿っての設問です。

設問1は、ホンモノの愛が書かれている聖書は、どんな書物なのかを学びます。初めての子どもにも配慮して、先生が答えを示していくことが必要でしょう。

設問2は、神様に愛されるために条件はないこと、また話し合う中で、私たちが造られた神様は、そのままで愛されることを見出せますように。そして自分も愛されているという事実を知った上で、なおも愛されていないと感じている子どもがあれば、なぜそう感じているのか、その子の気持ちに耳を傾けてください。人前では言えないこともあります。そのときには、あとで同性のスタッフが個人的に聞いてあげることがふさわしいと思います。

設問3は、1ヨハネ4・10のみ言葉を読み、①～④について答えていきます。み言葉がなければ神の愛は漠然としたものですが、み言葉を通して具体化するのが目的です。

設問4は、十字架に現された神様の愛、ホンモノの愛を知ることが目標です。

* 設問の答え

- 1、○は、①b、②a、③b、④b、⑤a。
- 2、①②③のすべて「愛されている」。あなたは……「愛されている」。
- 3、①×、②○、③×、④○。
- 4、救いの招きの前の小さな招きです。個人伝道の必要があれば、導きに応じて時間を持ちます。

★聖書 | ヨハネ1・7

★中心聖句 | ヨハネ1・7

御子イエスの血が、すべての罪^{つみ}からわたしたちをきよめるのである。

1、罪のリストがあります。あなたに思い当たるものにチェックをつけましょう。

- ☐わがまま ☐うそ ☐にくしみ ☐わるい思い ☐うらないやまじない
☐けんか ☐いじわるな思いや行ない ☐人のしあわせをよろこべない
☐怒り ☐仲たがい ☐人のものをほしがってだだをこねる
☐お父さんお母さん^{むし}を無視する ☐その他

2、一つでもチェックがついたら、その罰^{ばつ}（天国へ入れない）を受けなければなりません。聖書には、「罪の支払う報酬^{ほうしゅう}は死である」（ローマ6・23）と書いてあります。あなたは天国に入れますか。

（ 入れる ・ 入れない ・ わからない ）

3、私たちを罪から救い、天国に行けるようにしてくれるものが一つだけあります。中心聖句を読みましょう。何が私たちを罪からきよめてくれるのでしょうか。

- ①（ ）せっけん
②（ ）御子イエスの血
③（ ）洗濯機^{せんたくき}

4、イエス様は、罪人^{すく}が救われ、天国に行けるように、ご自分が罪人に代わって十字架にかかり、罰を受けてくださいました。どうしたらその救いをいただくことができるのでしょうか。一つだけ選んで○を、他のものには×をつけましょう。

- ①（ ）良いことをする。
②（ ）くるしい修行^{しゅぎょう}をする。
③（ ）イエス様を信じる。

5、あなたも罪をみとめて、あなたに代わって十字架で死んでくださったイエス様を信じますか。

【祈り】天の父なる神様、私は私の罪をみとめます。どうか私の罪をゆるし、お救いください。イエス様が私に代わって十字架におかかりくださったことを信じます。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

2013年度 夏期上級 第二課 解説（上森恭子）

「受け取ろう！ホンモノの救い」という第二課のテーマと目標に向かってワークを組みます。

設問1は、罪のリストを読み、自分自身を省みて思い当たるものをチェックします。この他の罪もあるかも知れませんが、この中の一つでもチェックが入れば罪人です。数の多さではありません。自分自身が罪人であることに自覚を持つことが目的です。

設問2は、設問1の確認です。罪の自覚がない場合は、個人的に気持ちを聞いてみます。罪の自覚はあくまでも聖霊によるものです。無理強いせず今の気持ちを聞いてあげましょう。すでにイエス様を信じているために「入れる」と答える子どももいるかも知れませんが、その場合は、罪の自覚がないということではないので、その違いを確認してください。

設問3は、み言葉を通して、罪をきよめるものがあること、救いがあること、それは御子イエスの血であることを発見するのが目的です。

設問4は、その救いを受ける取る方法を発見するのが目的です。

設問5は、設問4を通して救いを受ける方法を発見したので、その救いを受け取るために“信じる”という意志があるかを確認する招きとなります。救いに導くときには招きは不可欠です。

* 設問の答え

- 1、それぞれチェックします。
- 2、各自の罪の自覚を確認します。
- 3、②。
- 4、③。
- 5、救いの招きです。

★聖書 | ヨハネ5・4～5

★中心聖句 | ヨハネ5・5

世に勝^かつ者はだれか。イエスを神の子と信じる者ではないか。

- 1、世に勝^{しょうりしや}つホンモノの勝利者はだれでしょう。中心聖句を読んで下線部の空らんをうめましょう。

ホンモノの勝利者とは  イエスを神の子と_____者。

- 2、イエス様を信じたあと、つらいこと、悲しいことがあったら、どうしますか。話し合ってみましょう。

- ①悲しいこと（大きな失敗^{しっぱい}、転校^{てんこう}など）があったら。
②イヤなこと（悪口^{ごかい}、誤解^{ごかい}など）を言われたら。
③困^{こま}ったこと（大切なものをなくした、たのまれたことを忘れていたなど）があったら。

- 3、スポーツ選手^{ぶかつ}、部活をがんばっている人、ピアノ、そろばん、習字などをしてい
る人は、栄養^{えいよう}をとり、トレーニングをはげんで、記録^{きろく}の更新や勝利^{めざ}を目指し、上達^{じょうたつ}
をしていきます。あなたはどんなことに取り組んでいますか。

- 4、ホンモノの勝利者にも成長していく方法があります。それは下の①～⑤ですが、
「すでにやっている」「これからやりたい」のいずれかに○をしましょう。できな
い時はとばして、その理由もお話ししてみてください。すでにやっている人は、
やっていて良かったと思うなどをお話ししてください。

- | | | | | |
|------------------------|---|----------|----------|---|
| ①毎週の教会学校に通います。 | (| すでにやっている | これからやりたい |) |
| ②毎日聖書を読みます。 | (| すでにやっている | これからやりたい |) |
| ③毎日お祈りしてイエス様とお話しします。 | (| すでにやっている | これからやりたい |) |
| ④お友達にステキなイエス様のことを伝えます。 | (| すでにやっている | これからやりたい |) |
| ⑤神様におささげします（献金など）。 | (| すでにやっている | これからやりたい |) |

【祈り】天の父なる神様、イエス様を信じてホンモノの勝利者にしてくださったことを感謝します。み言葉の栄養をたくさん食べ、イエス様とお話ししますます成長させてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

2013年度 夏期上級 第三課 解説（上森恭子）

第一課で「ホンモノの愛を知り」、第二課で「ホンモノの救い」をいただき、第三課では「ホンモノの勝利者」について学びます。

設問1は、イエス様を信じて救われている人は、すでに勝利者であることを確認します。子どもたちにとって学校や家庭や友だちの間での評価から大きな影響を受け、すでに劣等感を持っていたり、敗北感を味わっている子どももいます。けれどもイエス様を信じる信仰こそがホンモノの勝利であることを確認したいと思います。

設問2、イエス様を信じて救われた後にも、つらいことやかなしいことが起こってきます。そのときに再び敗北感に陥りやすいものです。しかしそれらは信仰者にとっては成長していくための糧となります。そのためには具体的にどうしたら良いか、心を開いて話し合います。このように信じている者の間で、自らの心を開いて、話し合えたり、祈り合えれば、信仰の成長におおいに役立ち有意義なものになります。

設問3は、今現在取り組んでいる習い事やクラブ活動など話し合います。

設問4は、ホンモノの勝利者にとっても、成長を助けるものが何かを知るのが目的です。これら5つは大切なことですが、“御霊によって救われてから肉で仕上げる”というあやまちにも陥りやすい点です。律法的にならないように気をつけましょう。信じて救われたクリスチャンにとって、これら5つの事柄は喜びであり、必要なものとなっていきます。できないことも素直に話し合える関係が大切です。競い合ったり、評価したりしないように注意しましょう。

* 設問の答え

1、信じる

2、（例）①お祈りする、あやまる、神様に信頼するなど。②お祈りする、たしかめる、クリスチャンの友だちや教会学校の先生に相談する、お祈りしてもらうなど。③み言葉「捜せ、そうすれば、見いだすであろう」に従ってお祈りして捜す、忘れていたことをあやまる、神様に助けを求めるなど。

3、各自にお話ししてもらいます。

4、①～⑤について各自に○をしてもらったあと、すでにやっている人に感想などお話ししてもらいます。